ショウキョウ末 Powdered Ginger

ショウキョウ(生姜)末はショウガ科ショウキョウの根茎を乾燥させ粉末にしたもので、発汗や健胃、鎮吐などの効能があり、胃腸薬やかぜ薬に配合されています¹⁻²⁾。ショウキョウの有効成分の1つとして[6]-gingerolが挙げられ、その定量法が日本薬局方に記載されています。L-column3 C18 は“システムの性能”及び“システムの再現性”の要件を満たしており、ショウキョウ末中の[6]-gingerol定量法に適合したカラムであることが示されました(図1、2)。ここでは、L-column3 C18 でショウキョウ末中の[6]-gingerolを第十八改正日本薬局方第一追補に準拠して定量し、使用したショウキョウ末が日本薬局方に適合していることを確認しました(図3)。

参考 1)日本漢方生薬製剤協会 HP “ショウキョウ” 2)漢方薬のきぐすり.com HP “漢方薬・生薬大辞典”

Key words : ショウキョウ末 [6]-gingerol [6]-Gingerol 生薬 漢方薬 日本薬局方 定量法 オクタデシルシリル化シリカゲル
HPLC
Column : L-column3 C18 (USP category: L1)

[Analytical conditions]

Column : L-column3 C18 (C18, 5 μm, 12 nm); 4.6 mm I.D. × 150 mm L.; Cat. No. 822070
Eluent : 水 : アセトニトリル : リン酸 (3800 : 2200 : 1)
Flow rate : 0.8 mL/min
Temperature : 40℃
Detection : UV 205 nm
Injection volume : 10 μL
System : Agilent 1260 Infinity II
Sample : 試料溶液; ショウキョウ末抽出液(局方準拠)、標準溶液; 50 μg/mL [6]-gingerol溶液(局方準拠)

図1 “システムの性能”評価試験

Sample: 標準溶液

図2 “システムの再現性”評価試験

Sample: 標準溶液

図3 試験溶液と標準溶液のクロマトグラム

図4 [6]-gingerol 構造式

● ショウキョウ末の[6]-gingerol含有率

$$\begin{aligned} & \text{[6]-gingerolの量 (mg)} \\ &= M_S \times A_T / A_S \\ &= 5.13 \times 1272 / 2974 \\ &= 2.19 \end{aligned}$$

M_S : qNMRで含量換算した定量用[6]-gingerolの秤取量(mg)
 A_T : 試料溶液の[6]-gingerolのピーク面積
 A_S : 標準溶液の[6]-gingerolのピーク面積

$$\begin{aligned} & \text{ショウキョウ末の[6]-gingerol含有率 (\%)} \\ &= \text{[6]-gingerolの量 (mg)} / \text{ショウキョウ末の秤取量 (mg)} \times 100 \\ &= 2.19 / 1032.8 \times 100 \\ &= 0.21 (\geq 0.20\%) \end{aligned}$$

定量に使用したショウキョウ末は日本薬局方に適合しました。

2025.4. OJM